

報告第6号

平成29年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告について

平成29年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書を別紙のとおり作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により報告する。

平成30年9月3日提出

里庄町長 加藤 泰久

平成29年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書

平成30年8月

里庄町教育委員会

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）の一部改正により、全ての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならないことになっております。

本報告書は、地教行法第26条に基づき、平成29年度の点検及び評価を行い、報告するものです。

### 〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検及び評価の方法等

### 1 対象

平成29年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

### 2 報告

平成30年9月3日 議会に提出

### 3 公表

教育委員会事務局での閲覧

町役場の掲示場に掲示及び町ホームページでの公開

## III 点検及び評価

### 1 教育委員会の組織・活動

#### （1）会議の運営等

教育委員会議は、定例会を毎月1回（平成29年度：計12回）開催し、必要に応じて臨時会（平成29年度：計1回）を開催しました。（※資料1）全員が出席し（第4回・11回を除く）十分な時間を掛けて審議及び協議を行い、充実した運営となつ

ています。審議を深めるための工夫として、事前に事務局に議案書及び関係資料を提出させるよう努め、まだ十分とはいえませんが、今後も引き続き改善したいと考えています。

総合教育会議を2回開催し、教育委員と町長との懇談会を1回開催し、話し合いや意見交換を行いました。その他、行事などで教育委員全員が町長と会う機会を利用して、意見交換や依頼等を行い、連携を図りました。教育委員と町長との懇談や意見交換は、両者の円滑な連携を図るために有効であると考えており、今後も引き続き実施したいと考えております。

事務局の職員体制については、陣容を増大することはできませんが、指導主事を継続して配置し、学校教育・社会教育の両面にわたり、専門性を高める取り組みを行っております。今後も、事務分掌の見直し等を図りながら、効果的な体制の整備を図る必要があります。

地域の実情に応じた施策及び地域住民の意向を施策に反映することについては、各校の学校評議員会の意見や、学校・園の「現状」を広く地域住民の方々に知っていただくため、「一日学校公開」を実施し、その際に頂いたアンケートや、「教育を考えるつどい」での意見等も参考にし（※資料2）施策に生かすように努めています。学校教育及び社会教育の両面で工夫や努力が今後一層求められるようになっており、今後も鋭意検討を続けたいと考えております。

教育委員の研修は、委員としての識見の向上と、当町の幼児・児童・生徒の学力向上対策や豊かな成長が推進されるよう、先進地の学校訪問等を通して、具体的な取り組みを研修する事を目的に、岡山市町村教育委員会連絡協議会や県外視察研修を実施しました。

また、定期的に学校や社会教育関係施設の訪問を実施し、現状把握を行ったうえで、業務の見直しや施設の改善を提案しました。

（※資料3）

学校（園）の行事や教育委員会主催の行事にも積極的に参加し、実情を理解しました。（※資料4）また、学校の現状把握のために、平成29年5月31日（水）に学校（園）訪問を実施して、教育委員会の審議及び協議に役立て、可能な限り学校（園）の支援を行いました。

## （2）公開性

教育委員会が、町民にとって身近なものとなるよう、可能な限り情報を公開する方針のもとで、定例会等のあり方を検討する必要があります。しかし、議事内容は全て公開すべきものばかりでなく、プライバシーや個人情報等で配慮を要する事項も多々あり、今後も慎重に検討しながら進めて行きたいと考えております。

町主催の分館長会議に教育長や教育委員会事務局職員らが出席し、町民の方々から教育行政等についての意見や要望等を出していただき、教育委員会で検討いたし

ました。公聴活動は、町民の意志を反映した教育行政を推進するために大切なことでもありますので、今後も町民の方々からの意見や要望等をしっかりお聞きし、また教育行政の施策の広報に今後も積極的に取り組んで行いたいと考えております。

また、教育委員会及び学校・園の取組を紹介した「里ちゃんだより」(※資料5)を年3回発行し、町内全戸へ配付しました。

## 2 教育委員会が管理執行する事務

### (1) 基本的・総務的事務

教育行政重点施策(※資料6)の策定など基本方針の多くは、事務局に原案や資料を提出させ、教育委員会として慎重に審議することができています。

規則等の制定・改廃(※資料7)については、教育委員会事務局で遅滞なく行っています。

教育関係予算については、各校(園)等の要望を聞き、教育長等が町長へ交渉し、教育委員会としての意見を尊重した議案が議会へ上程されるよう努めています。

従来から当町の教育予算の比率は高く、教育が重要視されています。教育予算策定の話し合いにもっと時間をかけ、里庄町の教育がより充実するようにしたいと考えています。

### (2) 人的管理に属する事務

町立小中学校の校長等の任免について県教育委員会に対して内申を行っていますが、今後も慎重に行っていきたいと考えています。文化財保護委員等各種委員の委嘱または任免は、教育委員会で議決しています。人的管理に属する事務については、県教育委員会及び町長部局との連携をより密にしていくよう努めてまいります。

学校関係職員の研修は計画的・効果的に実施され成果が上がっています。事務局職員の研修は日々の研修と県教育委員会や町長部局に委ねている研修があり、今後も充実させていく必要があります。

また今年度、外部人材の活用や支援員等の配置、中学校における部活動休養日の設定、夏季休業中の学校完全閉庁期間(8月13日～15日)を設定し、学校現場における働き方改革に向けて、具体的な取り組みを実施しました。

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

### (1) 学校教育

小・中学校の全国学力・学力状況調査の結果は、概ね全国平均のレベルにあります。町としての学力向上の方針を示し、各学校も学校としての学力向上策を定めて鋭意努力しています。

教育委員会としても、学力向上を図るためソフト面やハード面の予算を措置し、また、町内の幼稚園、小中学校の教育職員等を対象に、夏季休業中に教職員研修会を行

いました。本年度は、西小学校が、県内の新規採用公立小学校教諭初任者研修講座の会場になり、公開授業を行いました。

いじめ・不登校の解消に向けては、昨年度に引き続き町をあげて重点的に取り組みましたが、登校できにくい児童・生徒が複数名います。教育アドバイザーの導入や、浅口市にある「浅口大簡塾」を、浅口市と協定を結ぶことにより利用可能にする等、今後も継続して解消を目指して取り組んでまいります。

子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上に努め、グローバルな人材の育成を目的とした英語指導助手の派遣については、県内10市、7町、2村が民間からの派遣を実施している状況の中、引き続き派遣を考えていましたが、議会から町の財政面等を考慮した意見があることなどを踏まえ、今後派遣依頼先を検討していく必要があります。

子どもたちが安心して学習や学校生活が送れるように、幼稚園、小・中学校に生活支援員を配置しています。東小学校8人・西小学校に9人、中学校3人、そして東幼稚園2人、西幼稚園に3人で、落ち着いた学習環境が確保され、十分な成果を上げています。また、小学校から中学校1年生への進級にあたり中1ギャップを解消するため、小中連携支援員を2人、引き続き配置しました。

特別支援教育については、特別支援学級・通級学級において指導の充実を図っています。具体的には、町の教育相談員が学校の要請により学校を訪問し、具体的な指導方法について支援しています。また、生活支援員を対象に特別支援教育の理解を目的として、研修会を実施しています。

里庄町では、学校給食は子どもたちの体や心を育てるのに重要なものであり、食事は人づくりの上でとても大切なこととして、学校給食に力を入れてきています。食堂給食を実施し、小学校ではできたての給食をファミリー形態で食べています。

小・中学校の耐震化・大規模改修工事は平成19年度末で完了しており、平成27年度には西小学校の非構造部材耐震補強工事を、平成28年度には小・中学校の屋根防水工事を、平成29年度には小・中学校の教室への空調設置工事（工事は30年度予定）を実施し、安全・安心な学習環境が確保されることになっております。

## (2) 社会教育

町民のニーズに応じた各種講座を開設しており、多くの町民が文化活動を通して生きる喜びを感じ、自己実現を図っています。今後も、企画運営を受講者自身が行う講座となるよう、一層の充実に努めます。

岡山県が制定した11月1日の「教育の日」に関連し、「里庄町教育を考えるつどい」において講演会を開催、小学校入学前の就学時健診時と中学校入学前の入学説明会の際に子育て講座、保護者同士が共通の悩みをお互い考える、議論し合う講座などを開講し、家庭教育について研修する機会を設け、啓発を行いました。

昨年度から始めた、学校の授業だけでなく、子どもたちが自ら学び体験することで生

きる力を育み、地域全体で子どもを育てていく事を目的とする「さとしょう未来塾」事業も2年目となりました。自学自習を基本とした学習に取り組む「里ちゃん寺子屋」と体験を通じて子どもたちが「生きる力」を身につける「里ちゃんチャレンジ・ワールド」の2本の柱で実施し、地元地域の方々や企業の協力を得ながら、地域の子どもは地域で育てる事をコンセプトに取り組みました。1回限りではなく、年間を通しての事業になるように検討・工夫を行いました。(※資料8)

町立図書館は、順調に蔵書数を増やし、平成29年度末に14万9千冊余りになるとともに、町民に親しまれる図書館を目指しております。平成29年度の開館日数は277日、来館者は7万人余りにのぼり、約2万人の方に約8万点を貸出し、県立図書館や高梁川流域7市3町の図書館相互利用等、生涯学習の拠点施設として、町内外から好評をいただいております。

男女共同参画社会の推進等人権意識の高揚に関する講座や行事は、計画通り実施できました。今後も事業の改善を進めながら、状況の変化に適切に対応していく予定です。

文化の振興に関しては、総合文化ホール「フロイデ」や福社会館、中央公民館などを有効に活用し、町民自らの活力や、行政と町民との協働によって、得られるエネルギーを生かしながら、町民のニーズと本町の実情に合った事業を展開してきました。その結果、幅広く町民の参加が得られ多くの成果をあげることができました。その一方で、施設の老朽化など、課題もあり一層の改善、充実に努める必要があります。

スポーツの振興については、「つばきの丘運動公園」多目的グラウンドや野球場、テニス場などのスポーツ施設や学校施設を活用して、多くの町民がスポーツを楽しみながら健康の増進を図っています。グラウンドゴルフやソフトバレーボールなどのニュースポーツの普及促進を進めた結果、大会に多数の参加者があり、また、地域や各種団体でも行われるようになっていきます。

青少年を対象にしたスポーツでは、小・中学生対象の柔道・剣道スポーツ教室、少年野球クラブ、少年サッカークラブなどの活動が盛んです。

厚生体育大会では、各分館や幼稚園・小・中学校、各種団体の積極的な参加とご協力をいただきながら、実施することができました。

体力づくりふれあいマラソン大会では、小中学校の協力を得て、徐々に参加者が増えており、特に親子の部にも多くの参加者がありました。

「町民一人一スポーツ」の目標達成を掲げ、誰でも・どこでも・いつでもスポーツができる環境を整備し、健康づくり・生きがいがづくり・地域の絆づくりなどにスポーツが利用されることを願っています。

#### IV 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項に基づき、元公立小学校長平野尚哉氏に点検及び評価に関する助言及び意見をいただきました。

「事務局の職員体制や学校・社会教育施設老朽化の改善など、課題はあるものの、里庄町の特色を生かした教育行政が行われ、概ね良好な運営がなされているように思われる。教育委員会事務局に、教育について識見を有する職員が複数在籍するなど、体制の整備が図られているが、効率化をはじめ、一層の体制整備も必要があると思われる。今までも取り組んできているが、今後も課題、要望、意見の改善に務め行政に反映させてもらいたい。」との意見をいただきました。

里庄町社会教育委員に点検及び評価に関する助言及び意見をいただきました。

「昨年度から取り組んでいる『さとしょう未来塾』事業について、東西小学校児童の交流が深まっていることや、地域の方々・企業に協力をいただきながら、一定の成果は上がっている。今後も地域全体で子どもを育てる風土づくりに取り組んでほしい。里庄総合文化ホール『フロイデ』の有効利用、自主事業のあり方を検討していく必要があるのではないか。」との意見をいただきました。

## V 終わりに

平成29年度の本町教育委員会事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、学識経験者及び社会教育委員の助言及び意見などをいただき報告いたしました。

今後も教育委員自らが点検及び評価をし、教育委員会を充実させ、教育委員会が町民にとって身近になるよう努力し、町民に支えられた、町民のための教育行政が展開できる教育委員会になるよう、引き続き努力したいと考えております。



資料 1

平成29年度教育委員会会議

(1) 定例会

H29. 4月19日(水)	5月24日(水)	6月28日(水)	7月19日(水)
8月23日(水)	9月27日(水)	10月25日(水)	11月29日(水)
12月20日(水)	H30. 1月24日(水)	2月28日(水)	3月13日(火)

(2) 臨時会

H29. 4月 3日(月)			
---------------	--	--	--

資料 2

一日学校公開アンケート結果(感想一部抜粋)

幼稚園

- ・子どもたちが、明るくのびのび遊んでいる姿が良かった。先生方も笑顔で保育されていて安心して預けられると感じた。
- ・体操や自由遊びなど、日常の様子が見られて良かった。
- ・来年度入園希望であり、現場の見学ができて良かったです。

小学校

- ・子ども達が落ち着いて勉強している。
- ・親子で体験活動ができて嬉しかった。
- ・先生が要点を指導しても、子どもたちが理解できていない事がある。
- ・子どもたちの学校生活を見れて良かった。

中学校

- ・生徒の挨拶が気持ちよかった。
- ・授業態度が非常に良く見えた。
- ・落ち着いた学習環境が確認できた。
- ・廊下を移動する際の私語が気になる。

## 資料 3

## 教育委員が出席した主な研修会等

5月 8日(月)	岡山市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会	岡山県総合教育センター
7月11日(火)	岡山市町村教育委員会連絡協議会総会	くらしき健康福祉プラザ
9月29日(金)~30日(土)	里庄町教育委員会県外視察研修	愛知県知多郡阿久比町
11月 7日(火)	岡山市町村教育委員会連絡協議会研修会	ライフパーク倉敷

## 資料 4

## 教育委員が出席した主な行事等

29年 4月 3日(月)	新任教職員着任式
4月 7日(金)	小学校入学式
4月10日(月)	中学校入学式
4月11日(火)	幼稚園入園式
5月20日(土)	幼稚園・小学校運動会
5月31日(水)	教育委員学校訪問
6月 9日(金)	小川賞授与式
7月13日(木)	青少年早朝街頭指導
8月15日(火)	平和祈念式典・戦没者盆供養
8月19日(土)	理化学研究所里庄セミナー
9月 3日(日)	仁科芳雄博士顕彰 ロボット・コンテスト2017
9月 9日(土)	中学校体育会
9月24日(日)	第65回里庄町厚生体育大会
10月28日(土)	青少年健全育成「未来の会」総会・第17回里庄町教育を考えるつどい
11月11日(土)	1日学校公開
11月17日(金) 22日(水)	西(17日)・東(22日)小学校学芸会
11月17日(金)	第9回備中地区社会教育実践研究交流大会
12月 6日(水)	仁科賞授与式
12月10日(日)	仁科芳雄博士誕生日記念科学講演会
12月13日(水)	東・西幼稚園生活発表会
30年 1月 7日(日)	成人式記念式典
1月 7日(日)	町長との懇談会
2月 2日(金)	第49回里庄町立志式
2月18日(日)	第37回里庄町体力づくりふれあいマラソン大会
2月27日(火)	仁科芳雄賞授与式
3月13日(火)	中学校卒業式
3月15日(木)	古山賞授与式
3月19日(月)	小学校卒業式
3月20日(火)	幼稚園卒業式

# 里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212



里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、平素より何かと大変お世話になっておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、里庄町では、「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」を基本目標として、教育行政の推進を図っています。里庄町の次代を担う人づくりを推進するためには、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが大切です。また、大人も子どもも夢や目標に向かって、いきいきと生活できるように、地域に根ざした、文化、芸術、スポーツ等を生涯にわたって学び、楽しむことができる環境づくりを進めてまいります。

本年度は、「さとしよう未来塾」の内容を充実させ、スタートを切りました。地域の皆様のお力をいただきましたが、子どもたちにとって実のある取り組みをしていきたいと考えています。内容については次ページに示しておりますので、ご覧ください。

今後とも皆様方の一層のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 里庄町の教育目標 (平成29年度)

### 「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
  - ・学校教育「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」認めること、落ち着いた集団の確立、主体性の育成、授業改善
  - ・学校給食、基礎・基本の徹底、あいさつ
  - ・言語活動の充実による表現力の育成 (論理的に書く力、コミュニケーション力)
  - ・家庭教育(認めること、基本的な生活習慣、しつけ、あいさつ、家庭学習)
  - ・地域の人々との連携
- 2 心豊かで生きがいを感じる生涯学習の推進
  - ・地域社会の教育力の向上、地域人材の活用
  - ・町民との協働によるまちづくり活動の推進
- 3 やすらぎとうるおいを感じる芸術・文化の振興
  - ・先人の偉業に学び、地域に受け継がれてきた伝統・文化の伝承
  - ・町民の主体的な文化活動と世代を超えての人々の交流
- 4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の振興
  - ・スポーツ・レクリエーション活動の推進
  - ・スポーツ指導者の養成
- 5 異なる国や地域・人との交流活動の推進
  - ・幼稚園・小・中学校における、国際理解教育・英語活動の推進
  - ・国際交流事業の推進を通じて、世界の人々との友好親善の精神を育成

「さとしよう未来塾」について～子どもの居場所づくり、地域教育力の向上を目指して～  
里庄町内の小・中学校の子どもたちの健やかな成長を応援するため、昨年に引き続き今年も「さとしよう未来塾」を実施します。

#### 1 「里ちゃん寺子屋」

子どもたちが自分で学習ができるように、学習習慣を身につけることを目的に、毎月1回土曜日に開催しています。ボランティアの方が子どもたちの学習を支援していただきます。参加者が相互に影響し合い意欲が高まるとともに、落ち着いて勉強する習慣がつくと、学力もついてきます。

多くの小学生・中学生が参加して、力を伸ばしてほしいと思います。

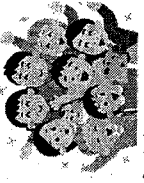
#### 2 「里ちゃんチャレンジ・ワールド」

町内の優れた人やモノを総動員し、子どもたちに様々な体験活動を提供します。本年度は、多種多様な体験ができるよう、大幅に機会を増やし、土・日曜日、夏季休業日を中心に実施します。

一緒に活動する人や指導者・地域の人とふれあうことで、互いの良さを知ったり、自分自身の隠れた才能を発見したりすることができるようになります。

どちらの事業も、里庄町の未来を築く子どもたちを育てる事業であり、情報提供と支援をしてくださるボランティアの方々の方が必要不可欠です。ご協力をお願い申し上げます。

教育コーディネーター 武政 寛治



### スマートフォン・ゲームの適切な利用についてのお願い

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間の中で、ネット上のいじめや犯罪被害等につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少も指摘されています。ご家庭で、家庭でのルールを子どもとしっかり話し合い、一緒に決めていただき、きちんと守っていくようにご指導をよろしくお願ひいたします。

里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。一人ひとりがルールを守り、家庭、地域で見守ることにより、子どもたちの健全育成を図ってまいりたいと考えますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。※各家庭での徹底をお願いいたします。

教育委員会 天野 正彦

### 教育相談日のお知らせ

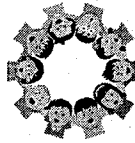
日時 毎週 月曜日・火曜日・水曜日(原則)  
午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

場所 「里庄むつみ会館」(里庄町里見1004)

相談を希望される方は教育委員会事務局 (0865-64-7212) まで  
(ご希望日時が重なった場合、調整させていただきます。)

担当者 教育相談員 栗尾康子

裏面に続く



## 魅力ある授業づくりと自己肯定感を高める集団づくりの取り組み

里庄中学校長 田原 直樹

平成29年度は、1年生93名、2年生98名、3年生93名の計284名、10学級でスタートしています。里庄中学校は、創立以来JRC（青少年赤十字）に加盟し、その理念を取り入れた教育を推進しています。「2分前行動ができる」「はきものをそろえることができる」「あいさつができる」などの素晴らしい伝統をもつ学校です。今年度も、昨年度に引き続いて、生徒の自己肯定感を高めることを目指して、「授業づくり」と「集団づくり」を研究の2本柱とし、学校教育目標である「心豊かに学ぶ生徒の育成」を目指していきます。

### 【魅力ある授業づくり】

・どの生徒も授業の中で、「分かった」「できた」「できた」を体感できる授業を目指します。

- ・パソコンや実物投影機等のICT（情報機器）を効果的に使うことで、生徒の興味・関心を高めていきます。
- ・授業の中に、二人組での学習やグループでの学習などの、学び合いを取り入れた協同学習を推進します。

### 【自己肯定感を高める集団づくり】

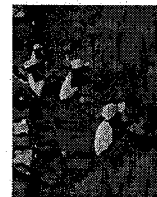
・どの生徒も学校生活の中で、お互いを認め合い、高め合える集団を目指します。

- ・学級活動や総合的な学習等の時間を利用して、SEL（社会性と情動の学習）の手法を取り入れた学習を進めていきます。

また、今年度の生徒指導の目標を、当たり前のことが当たり前にできる「凡事徹底」とし、生徒会の「里中3つの誇りプロジェクト」と連携して取り組んでいます。

- 特に、
- ① あいさつができる
  - ② 美化（掃除）がきちんとできる
  - ③ 2分前着席（時間が守れる）
- を重点目標として、小中共通の課題としてとらえるとともに、共通歩調で指導を行っていきます。

さらに、教育に対する関心が高く協力的なPTAや地域の方々と一緒に歩調を図りながら、様々な取り組みを進めていきたいと考えています。



まこもたけの栽培

- 家庭との連携
  - ・スマートフォンやゲームの時間の縮小など、生活習慣の改善とともに、家庭学習の時間確保と充実に取り組みます。
- 地域との連携
  - ・まこもたけの栽培、チョコボラ等の体験活動を中心に、地域の方々のご支援をいただきながら充実させていきます。

里庄中学校では、今年度も多くの皆様方のご協力をいただきながら、教職員一丸となって努力していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

## 心豊かでたくましい里見っ子の育成をめざして

里庄小学校・東幼稚園長 今井 豊

287名の児童一人一人が安心感をもって、伸び伸びと自分の力を発揮でき、よいと思うことを進んで行ったり、合意形成したりできる学校を目指していきます。そして、六年生が手本となって、「めざす児童像」の「進んで学ぶ子」「元気な子」「助け合う子」の3つを目指します。具体的には、次の通りです。

### (1)進んで学ぶ子

- 表現力の向上（聞く・話す・書く活動で）○基礎・基本の定着（振り返り・反復練習で）
- 思考の深まりと充実感（工夫・適切な支援で）○家庭学習の充実（学校・家庭の連携で）

### (2)元気な子

- 進んで運動 ○生活習慣づくり ○体力の向上への意欲 ○健康増進への意欲

### (3)助け合う子

- あいさつ ○気持ちを考える ○よさを認める ○人を大切にすること ○温かい言動



頑張った表彰合戦

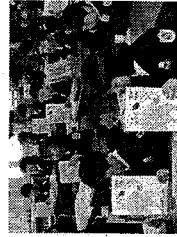
東幼稚園は、本年度くま組・りす組合わせて38名です。幼稚園においても、小学校の学びの土台となる関心や意欲を、遊びを中心とした活動の中で育てていきます。本年度も、町民の皆様が温かいご支援と見守りをいただきながら、里見の子をよりよく育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

## 里西っ子の「生きる力」を育てる（幼・小）

里西小学校・西幼稚園長 松原 修

里西小学校は全校児童数350名で平成29年度をスタートしました。「切磋琢磨」の校訓、教育目標「里西っ子の生きる力を育てる」のもと、「よく考え進んで学ぶ子ども」「仲良く助け合う子ども」「明るく元気な子ども」の育成を目指しています。具体的には次のことを重点に、PTA、地域、町内小中学校と連携しながら取り組みを進めていきます。

- (1)「よく考え進んで学ぶ子ども」を育てるために
  - 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じる魅力ある授業づくり
  - 基礎・基本の徹底 ○伝え合う活動で表現力を育成
  - 意欲的に進める家庭学習の充実
  - 「仲良く助け合う子ども」を育てるために
  - 人・時間・協働を大切にする生徒指導等 ○道徳指導の充実
  - 認めて伸ばし自己肯定感を育む学習指導等
  - 「明るく元気な子ども」を育てるために
  - 食力づくりの推進 ○基本的生活習慣の定着
  - 食生活の充実と食育の推進
- (2)「仲良く助け合う子ども」を育てるために
  - 道徳指導の充実
  - 人・時間・協働を大切に
  - 認めて伸ばし自己肯定感を育む学習指導等
  - 「明るく元気な子ども」を育てるために
  - 食力づくりの推進
  - 基本的生活習慣の定着
  - 食生活の充実と食育の推進
- (3)「明るく元気な子ども」を育てるために
  - 道徳指導の充実
  - 人・時間・協働を大切に
  - 認めて伸ばし自己肯定感を育む学習指導等
  - 「明るく元気な子ども」を育てるために
  - 食力づくりの推進
  - 基本的生活習慣の定着
  - 食生活の充実と食育の推進



意欲的に学ぶこどもたち



園児の栽培活動

西幼稚園の本年度の園児数は48名です。小学校と一貫した教育目標を設定し、遊びを通して「意欲をもってがんばる子」「思いやりのある子」「元気な子」を育て、小学校への発展的な接続を図ってまいります。どうぞよろしくお願いたします。

# 里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

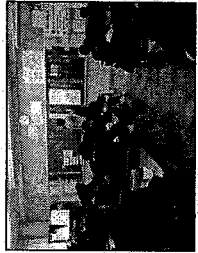
## 教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、平素から教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になりました。先日の一日学校公開では、子どもたちの元気な様子を見ていただき、温かい励ましをいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

また、本年度、内容を充実させました「さとしよう未来塾」におきましても様々なご支援をいただき、多くの行事が充実したり、円滑に運営できたりしております。

今後とも皆様のお力をいただきながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、皆様方のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



一日学校公開の様子

## 里庄町の子どもの学力は？ (全国、岡山県学力・学習状況調査の結果より)

全国学力・学習状況調査(小学6年生、中学3年生)全体としては、ここ数年、全国平均と比べて同程度か、よい年が続いております。本年度につきましては、小学校は、国語と算数の全てが全国平均をわずかに下回りました。中学校も、国語と数学の全てが全国平均をわずかに下回りました。

岡山県学力・学習状況調査(小学3年生～5年生、中学1年生～2年生)では、小学校は、国語と算数の全てが県平均を上回りました。中学校は、国語は県平均と同程度か上回りました。数学はどちらの学年も県平均より上回りました。英語は県平均よりもわずかに下回りました。

今後、子どもたちのよさや頑張りを的確に認め、自己肯定感を育みながら、一人ひとりの子どもたちがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

○よくできているところ：漢字・計算など基礎的な内容

★課題と考えているところ：目的に応じて文章を書いたり、説明したりすること。

里庄町では小学校と中学校が連携して、学力向上の重点目標を次の3点に決めて、充実を図っています。

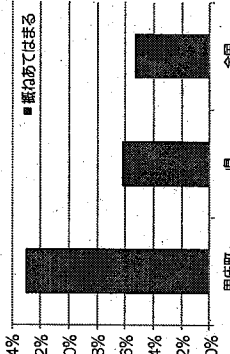
① 基礎・基本の徹底 ② 表現力の育成(書く力) ③ 家庭学習の充実

今後、学校・家庭・地域で力を合わせ、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成に全力で取り組んでまいります。

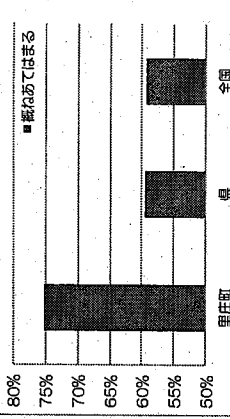
(文責 天野正彦)

## 里庄町の子どものよさは？ (全国、岡山県学力・学習状況調査の結果より)

人が困っているときは、進んで助けていますか。(小学6年生)



地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。(中学3年生)



里庄町の小学6年生は、岡山県や全国の子どもと比べて、「人が困っているときは進んで助けています。」と、回答しています。また、里庄町の中学3年生は、「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。」と、回答した子どもが多いという結果になりました。これらは、小学校、中学校ともに見られる傾向でした。進んで人に親切にしたり、地域や社会で起こっている問題や出来事に興味をもったりすることは、周りの人や地域などとのつながりを大切に、自分の生活を豊かにしていく上で、とても大切なことであると考えます。自分自身を高めていくことはもちろんのことですが、周りの人と支え合いながら成長していくことのできる、知能体のバランスのとれた、たくましい子どもに育ててほしいと考えています。

<その他の項目で、町内の小学6年生・中学3年生がともにポイント数が高かった内容>

- ・友達と話し合うとき、友達の考えを受けとめて、自分の考えをもつことができる。
- ・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。

メディアとの接し方の項目では、携帯電話やスマートフォンを使い方について、家の人と約束したことを守っている子どもや、テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを、家の人と決めていく子どもが多く見られました。しかし、テレビ、ゲーム、携帯電話、スマートフォンなどのメディアに接する時間が長い子どもが、県・全国並にいるという結果もわかりました。規則正しい生活は、健やかな心と体の育成につながります。子どもだけで家庭生活のルールをつくったり、守ったりすることは難しいことでもあります。保護者の責任として、またご家族それぞれのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

～落ち着いて、規則正しい生活を送るために家庭でできること～

- 携帯電話やインターネットをする時間が長時間にならないようにする。そのために、家で約束を決めて、きちんと守らせる。
- 家庭学習(予習や復習も)をきちんとする。そのために、励ましの声かけをしたり、学習の様子を見たりして、家族みんなが子どもの頑張りを温かく見守る。

それぞれの家庭で、お子様のための取り組みをお願いいたします。

(文責 天野正彦)

## 落ち着いた集団づくりと豊かな心・人間性の育成のために

### ～ 小中が連携した取り組みを通して ～

里庄町では、小中が一貫した「育てたい子どもの姿」を設定して、9年間の歩みの中で育てていきたいと考えています。そこで、今年度は、学習規律・生活規律の確立のため、次の3つを重点項目として、取り組んでいます。(小中学校では、学校生活での実態が異なるため、表現在若干の違いがあります。)

- (1) あいさつができる
  - ・登下校においても、校内においても、地域の人々や先生・友達に大きな声で元気な声に挨拶ができるようにします。
  - (2) 掃除(美化)がきちんとできる
  - ・時間いっぱい、汚れているところを見つけて、隅々までできるようにします。
  - (3) 時間(2分前着席)が守れる
  - ・授業の始まりなど、決められた時間に遅れないよう準備します。



小中学生合同授業

上記以外にも、各校で社会性を高めるトレーニング等を実施し、コミュニケーション力や自己肯定感を高める授業も取り入れています。また、小学校から中学校へのスムーズな接続のため、中学校教員の小学校での出前授業や、夏休みの中学生による学習支援ボランティア、6年生の入学生体験時の合同授業等、不安感を期待感に変える取り組みも積極的にを行っています。(文責 里庄中学校長 田原直樹)

## 「里ちゃん 子育て未来塾」開催

現在の子どもたちを取り巻く環境は、親世代が経験したことのない課題を抱えるなど、多くの問題が山積しています。また、多種多様な働き方のため、子どもたちに関わる時間が減少したり、親同士の関係も希薄化したりと、どのような子どもにも接し、支援したらいかがい悩みをもたれている保護者もおられます。そこで、親同士が悩みや課題を共有し、共に考えることで子育てについて気づき、親として子育てに意欲的に取り組んでいく機会をつくりたいと考えました。そして今年度から、各校PTA・町PTA連合会・町教育委員会が連携して、年3回「里ちゃん 子育て未来塾」を開催しています。現在、2回の研修会は終了しましたが、毎回30～40人のご参加をいただき、楽しく子育てについて考えることができました。

第3回は、岡山龍谷高校専務理事の中村好孝先生をお招きしての講演会を予定しています。中村先生の講演は、動画や写真を取り入れ、毎回笑いあり涙ありと大好評です。今回は、今後の教育改革を見えて、子どもたちにつけさせたい学力と、意欲の高め方についてもお話ししていただく予定です。とても参考になると思っていますので多くの皆様のご来場をお待ちしています。(文責 里庄中学校長 田原直樹)

- (1) 第1回研修会 「困ったことへの対処法」 6月27日(火)開催
  - ・各場面に応じた適切な言動ができず、悩んでいる我が子への上手なアドバイスの仕方
- (2) 第2回研修会 「気づいていきますか? 子どものサイン!」 9月28日(木)開催
  - ・日々の生活の中で、子どもが発するSOSやストレスのサインの気づき方
- (3) 第3回研修会 11月30日(木) 14:00開催予定 場所 里庄町福祉会館
  - ・講師 岡山龍谷高校専務理事 中村好孝先生 演題「未定」

## 地域と連携した体験学習の取り組み

里庄中学校長 田原 直樹

里庄中学校では、平成23年度から毎年、技術家庭科の授業の一環として里庄町特産のまこも栽培に取り組みんでいます。今年も6月の田植え体験から10月の収穫体験・出荷体験まで、マコモ同好会や町行政の方々のご支援をいただき、生徒たちは貴重な体験をすることができました。

こうした学習の中で、地域の方々からは、親切丁寧な指導をいただいています。また、「暑い中、よくがんばったね。」「上手にできたね。」「と声をかけていただくことで、生徒たちは自分たちも役立っている、大切にされていると感じ、里庄町民としての自覚をもつことができています。

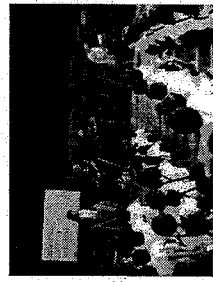
今後、地域の中学校として、地域で活躍できる中学生を育成していきたいと考えています。



まこもだけの収穫の様子

## 全校ソーシャルスキルの取り組みについて里庄東幼稚園・小学校長 今井 豊

里庄東小学校では、昨年度より、「よりよい人間関係を形成する力を育てるため」に、全校でソーシャルスキルを学んでいます。その際には、体育館に全校児童が集まり、教師の説明を聞いたり、劇を見たりして、よりよい関わり方を勉強します。その後、教室に戻って、2人組やグループになって声かけの練習をし、よりよい関わり方の定着を図ります。今年度は、「気持ちのよいあいさつをしよう」「友達の話を上手に聴こう」などの学習をしました。



体育館での様子

今後は、「上手な断り方」など、次第に難しい場面を学習するようになりますが、よりよい人間関係を築くことが、学級づくりの土台になります。学校全体で取り組むことで、効果を上げていきたいと思っています。

また、幼稚園でも同じ考え方で子どもたちが気持ちよく幼稚園での生活が送れるようにしていきたいと考えています。(※ソーシャルスキル・・・他者と良い関係を築くために必要な能力のこと)

## 人とかわかる力を育む「異年齢集団活動」 里庄西幼稚園・小学校長 松原 修

本校では昭和59年の食堂棟完成以来、30年以上の伝統をもつ食堂給食を実施しています。毎日、全校児童350人と教職員が一堂に会し、自校で調理した給食をおいしくいただきます。給食当番は、各グループ1年生から6年生9人が担当します。食事は6人が1人のグループを1年生から6年生が囲む「ファミリー」が基本単位で、上級生は下級生に優しく教えながら責任をもって配膳やおかわり、片付けの世話をします。ファミリーでは楽しい会話も弾みます。



食堂給食の様子

給食以外にもこのファミリー集団で、「仲良し遊び」や「栽培活動」を行っています。これらの活動を通して、思いやりの気持ちをもちながら、いろいろな学年と楽しくかわることで、児童の人とかわかる力と児童相互の好ましい人間関係を育てたいと考えています。

幼稚園では、2年保育が始まって3年目になります。保育や行事に年少児と年長児との異年齢集団活動を意図的に取り入れ、自分の気持ちや思いを言葉で伝えることを生活や遊びの中で教えることで、幼児のコミュニケーション力の育成を図っています。

# 里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212



## 「地域の皆様、いつもありがとうございます」

町民の皆様方には、日頃から教育行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。本年度も、多くの地域の皆様方に、温かいご支援・ご協力をいただきながら、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、学校と家庭・地域の連携を強めていきながら、健全育成を図ってまいりました。暑い日も寒い日も各地域で、子どもたちの登下校に合わせて実施していただいている「子ども安全パトロール員」活動では、地域の安全活動を積極的に推進したことが認められ、玉島警察署より団体表彰を受賞いたしました。日頃から見守りやあいさつなど、様々な形で子どもたちに寄り添っていただきながら、ご支援・ご協力をいただいております。

2年目を迎えました「さとしゅう未来塾」は、学校の長期休暇（夏休みなど）を活用し、事業の数を増やしました。また、1回で終了するのではなく、継続的に実施する事業にも取り組んでいます。地域や町内企業の方々に、講師などがランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をしていただいております。活動を通して、地域の方々も連携を深めることができましたと考えております。

また、普段の子どもたちの様子を見ていただき、学校（園）への理解を深めていただくため、昨年11月11日（土）「一日学校公開」を実施いたしました。当日学校（園）PTAの皆様には、ご来場いただいた地域の方々に、手作りのおもてなしなどをしていただき、ありがたく思っております。大勢の方にご来場いただき、アンケートを通して、ご意見やご感想をいただきました。貴重なご意見を参考にしながら、これからの地域の方々に開かれた学校づくりに努めてまいりたいと考えております。今後とも地域の皆様方のご支援とご協力をよろしく願っております。

（文責：事務局長 小寺 大輔）

## 里中学校同窓会役員の変更のお知らせ

里庄中学校同窓生の皆様方には、平素より母校の進展に寄与していただき、本当にありがとうございます。この度、平成29年12月19日（火）に行われました、同窓会の常任委員会での役員の変更があり、次のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

会長 大内 哲夫 21期（昭和43年3月卒） 大原中分館

副会長 馬場 辰巳 21期

廣江 知子 26期

佐藤 寿一 31期

寺居 陽子 31期

監査委員 妹尾 芳樹 21期

大島三枝子 24期

（文責 里庄中学校長 田原 直樹）

## 「さとしゅう未来塾」について

里庄町の子どもたちの健やかな成長を里庄町の大人が応援するのが、「さとしゅう未来塾」です。未来塾は自学自習「里ちゃん寺子屋」と、体験活動「里ちゃんチャレンジ・ワールド」の2つの事業から成り立っています。多くの方々にお世話になり、今年は20以上の体験活動が提供でき、多くの子どもたちが参加しました。（文責：教育コーディネーター 武政 寛治）



里ちゃん寺子屋



科学ランドin 里庄



LED電子工作



アグリクラブ

## 平成30年成人式 ～新たな希望を胸に～

里庄町では、これからの里庄町を担う新成人が晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、また、成人としての責任や義務を自覚する機会となるよう、毎年成人式を開催しています。今年1月7日（日）に実施し、90名の新成人が参加しました。

式典では、新成人代表者が「一人ひとりが自分の行動に責任をもち、社会の一員として常に向上心をもって努力して参ります。」と力強く決意を述べました。式典終了後に行われた交歓会では、小・中学校の卒業アルバムや文集などが並べられたブースを設置した会場で、旧友や恩師との再会を喜び、思い出話を花を映かせていました。

新成人の皆様は今後ますますのご活躍とご発展を、心よりお祈りしております。（文責：濱本 麻衣）



成人式の様子

## 体験活動について

里庄町教育委員会では、社会教育事業の一つとして、子どもたちを対象とした晴天座禅や冒険キャンプなどの体験活動に取り組んでいます。子どもたちは、体験活動を通して、地域の方々と交流しながら様々な経験を積み、社会を生き抜く力を培っています。

晴天座禅では、早朝の静寂の中、精神を統一して集中力を磨いています。冒険キャンプでは、自然の中で子どもたちが力を合わせてテント設置や炊事をする中で、協調性を高めたり、目的に向かい、工夫しながら活動する力を高めたりすることができました。どの活動においても、地域の方々のご協力をいただくことで、大変充実したものになっていきます。

今後とも、町民の皆様方のご理解とご協力を得ながら、地域全体で教育に取り組む体制作りを目指していきます。（文責：天野 正彦）



晴天座禅



冒険キャンプ



## ～スマートフォン・ゲームの適切な利用について～

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

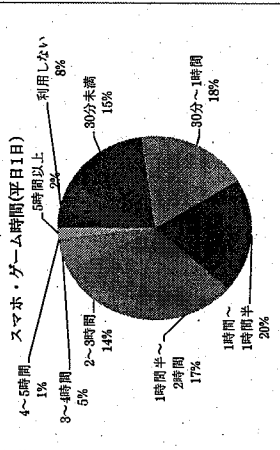
里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に進級や進学する時に、スマートフォンやゲームを持ち始めることも多いと聞いています。子どもたちが、安全で、安心して毎日の暮らしができますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
(教育長 杉本 秀樹)

## 里庄町の子どもの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

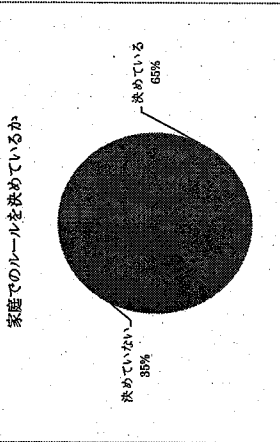
里庄町教育委員会では、平成29年度に2回、町内小学校4年生から中学校3年生までの全児童、生徒にスマートフォン・ゲームの使い方について実態調査を行いました。平成30年2月の結果の中から、2つを紹介します。

子どもを守るのは社会の大人の責任です。子どもの一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みませんか。ご家庭で、お子様としっかり話し合っって、子どもも納得する家庭内のルール作りを進めてください。  
(文責：天野 正彦)

### 小学校（4年生～6年生）

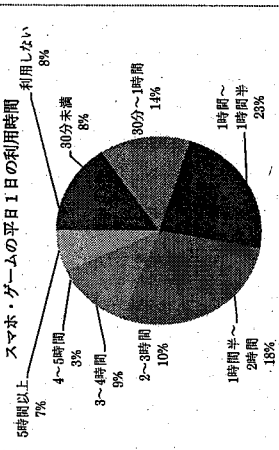


1日2時間以上利用している子どもが約2割

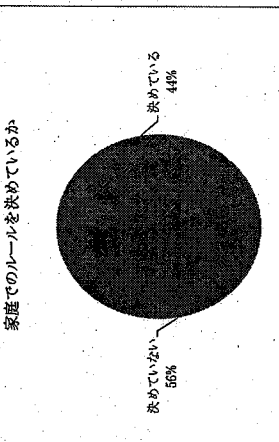


ルールを決めている子どもが約6割5分

### 中学校（1年生～3年生）



1日2時間以上利用している子どもが約3割

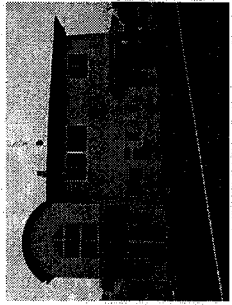


ルールを決めている子どもが約4割強

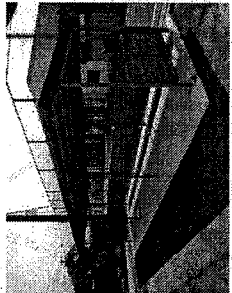
## 教育施設の維持保全及び室内環境の充実を目指して

文教施設は、園児・児童・生徒をはじめ、利用するすべての人々にとっても、常に安全で快適なものでなければなりません。進行する施設の劣化を長年放置すると、重大な事故につながる危険性が高くなります。

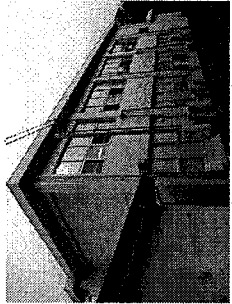
これらの施設を安全かつ良好な状態に保ち、時代の要請に適切に適切した施設水準を確保するとともに、災害時においてもその機能を十分に発揮させていくためには、適切な維持保全を行う必要があります。このため、教育委員会では定期的な安全点検や必要に応じた緊急点検を実施していき、劣化状況などを確認するとともに、施設や設備の不具合を早期に発見し、適切な修繕や更新などの措置を行うこととしています。また、施設の内部においても、教育内容や方法等の多様化に適合させていくため、内部環境の改善を図る整備も併せて進めていきます。  
(文責：淡路 尚久)



駅前コミュニティセンター—塗装改修



里庄中学校駐輪場整備



里庄西小学校（C棟）—外壁改修

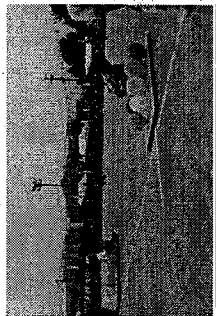
## 第65回厚生体育大会について

毎年恒例となっている厚生体育大会について、今回から種目の見直しを図り、「親子デカパン風船わりリレー」と「防災リレー」を導入しました。これらの種目の選定については、スポーツ推進員で構成する打合せの中で協議し、最終的に実行委員会で決定しています。

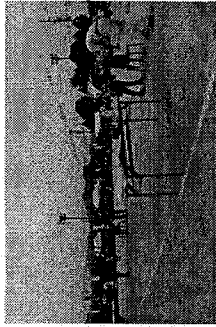
厚生体育大会においては、第65回を迎えて、伝統行事といっても過言ではないくらい当町の主要行事の一つとなっております。一部の意見ではマンネリ化しているという声もありますが、伝統を守っていくことは、同じ事を継続することであり、結果として、マンネリ化を避けられない難しい一面もあります。

今回の種目の見直しについては、親子種目と防災種目を改良しましたが、その他の固定化している種目に関しても、創意工夫を図りながら幅広い年齢層が楽しめるものにしていきたいと考えています。

結びにあたり、第65回の厚生体育大会を支えてくださったスタッフの方々、並びに町民の皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございました。  
(文責：安原 朋己)



親子デカパン風船わりリレー



防災リレー

## 里庄町教育委員会の最重点施策

### ○ 学校教育の安定と充実

#### 1. 落ち着いた集団づくり

- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 生活規律、学習規律の徹底（あいさつ、そうじ、はきもの、話の聴き方）
- ・ ハイパーQ U検査（小1から中3まで年2回の実施）
- ・ 生活支援員の配置（幼小中で計25名）・小中連携支援員（2名）
- ・ 教育相談員及び教育アドバイザーの配置
- ・ 家庭教育との連携（里ちゃんだよりの発行、親学研修、教育講演会）

#### 2. 確かな学力をつける

- ・ 1時間1時間の授業を大切にする（授業改善の推進）
- ・ 全国及び県の学力調査の有効活用
- ・ 小中連携の取り組み

##### ※ 里庄町の学力向上の重点目標

小中連携による落ち着いた学習環境づくりと学習意欲を高めるための授業改善

- ① 基礎基本の徹底
- ② 言語活動の充実による表現力の育成（論理的に書く力・コミュニケーション力）
- ③ 家庭学習の充実（復習・予習を意識して 手引きの活用、生活時間調査）

※相互授業参観、出前授業、体験授業の実施、合同研修会（幼稚園含む）

- ・ 反復学習と補充学習

※朝の学習、帰りの会、放課後学習サポート事業、サマースクールの実施

#### 3. 豊かな心、豊かな人間性の育成

- ・ 人権教育、道徳教育の推進
- ・ 家庭・地域との連携、ふるさと里庄町への郷土愛を育てる  
立志式の実施、里庄まこもだけの学習、地域偉人の学習
- ・ 生涯学習との連携（さとしょう未来塾）
- ・ 食堂給食の推進と活用

## ○ 社会教育の充実

- ・さとしょう未来塾（里ちゃん寺子屋・里庄チャレンジ・ワールド）を開設（暁天座禅 美しい森冒険キャンプ、地元企業や国際交流協会との共催事業、陶芸教室、そば打ち教室、スポーツ教室、地域の方々との共催事業等）
- ・子どもに豊かな心や科学的素養が育つ環境や機会を提供（仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会、柔道・剣道スポーツ教室、野球・サッカースポーツ少年団、立志式、グラウンドゴルフ大会等）

## ○ 家庭教育の充実

- ・小学校就学時健康診断や中学校入学説明会時に、子育て講座（親育ちの研修）を開催
- ・保護者同士が、子育てに共通する悩みを共に考える講座（子育て未来塾）を開催
- ・家庭と地域と学校が連携し、子どもを育むことについて考える「里庄町教育を考えるつどい」を開催

資料 7

教育委員会規則等の制定・改正

平成29年度に制定・改正された教育関係の規則等は、次のとおりです。

制定された教育委員会規則等

里庄町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について

## さとしょう未来塾

## ○ 里ちゃん寺子屋事業 参加人数

第 1 回	5月	20人	第2回	6月	17人	第3回	7月	20人
第 4 回	8月	17人	第5回	9月	15人	第6回	10月	17人
第 7 回	11月	18人	第8回	12月	17人	第9回	1月	13人
第10回	2月	15人	第11回	3月	18人			

参加者 小学校4年生から6年生 20人

指導ボランティア 6人 (高校生2人 町内一般成人4人)

1回あたり平均参加者 17人

## ○ 里ちゃんチャレンジ・ワールド 参加人数 (指導者等含む・複数回数実施は延べ人数)

スポーツ教室 30人

めぐりクラブ 39人 (年間4回実施) 写真であそぼう 24人 (年間4回実施)

LED工作 58人 (年間5回実施) 暁天座禅372人 (連続4日間)

美しい森冒険キャンプ 53人

静止画教室 36人

英語でランチ (国際交流協会共催) 39人

歴史探検 10人

土ひねり 40人

感想文教室 26人

学童グラウンドゴルフ 75人

ミニチュア家具作製 (地元企業共催) 46人

焼き菓子作製 (地元企業共催) 31人

そば打ち体験 34人

わくわく科学ランド 204人

年越しそば (国際交流協会共催) 24人

折り紙ひな人形作り 14人

たこあげ 29人 大豆料理 22人

手延べうどん作製 (地元企業共催) 26人

ジャガイモ栽培 3人 囲碁教室 (連続4日間) 13人